

シリーズ

協働のまちづくり

第四章

丹生川 まちづくり協議会

「地域の魅力を大切にし、心豊かに笑顔で暮らせる元気なまち」を目指して



会長 平塚 光明 さん
ひらつか みつあき

丹生川町は乗鞍岳に代表される豊かな自然と両面宿儺や大原騒動、地域の祭礼などの歴史・文化を二つの宝として、農林業と

商工観光業を柱とした活力ある地域づくりを展開してきました。今年2月の丹生川まちづくり協議会設立にあたっては、この丹生川の魅力と人の心の豊かさを大切に、今までの取り組みをしっかりと継承していくことを基本としました。

そこで「飛騨にゆうかわ宿儺まつり」に代表されるイベント、さらには体育・文化行事や花作りなどが継続して活動できるよう予算をできるだけ確保しました。さらに丹生川文化ホールを活用して、映画上映などを定期的に開催し、人の動きを活発化します。近隣のまちづくり協議会との連携も考えています。今年「町民一人がまちづくりの主人公として、知恵を出し、汗をかく」を合言葉に、

広報の充実などを通してまちづくりの意識を高めたいと考えています。

6月には町の自主団体と、まちづくり協議会共催で「丹生川再発見！平金鉱山跡・沢上・池之俣・岩井谷」という現地探訪を行いました。今まで別々の団体が個別に行っていた活動を連携させたり、合体させたり、さらには今までの活動を町民の意識に添って手直したりして、より充実した活動を生み出すのがまちづくり協議会の役目だと再認識しました。

町民の意識は多様化し、地域の絆が希薄になってきています。昨年度行った全戸アンケートを分析すると、町内会の再編、公民館活動の充実、少子高齢化に伴う様々な組織の停滞など課題は山積していますが、町民の皆さんの声を聴きながら、できることから、少しずつ変えていこうというのが現在の段階です。

丹生川まちづくり協議会

住所 丹生川町町方1

(丹生川文化ホール内)

☎78-2468 FAX78-2100

Mail: nyukawamachiky@yahoo.co.jp

広報 市長だより

44

高地トレッキングと ウィルバー博士

高山市長 國島芳明

御嶽山の麓、高山・下呂両市にまたがる飛騨御嶽高原高地トレッキングエリアは、平成20年に国の指定を受けて以後、年間延べ2万人余りのアスリートが利用する国内トップレベルの高地トレッキングエリアです。

オリンピックや世界陸上の金メダリスト、フアライ選手(英国)や箱根駅伝優勝の青山学院大学をはじめ、国内外の多くのアスリートが今夏もトレッキングに訪れています。

米国オリンピック委員会の権威、ウィルバー博士も「東洋一の高地トレッキングエリア」と評してください。私は先月16日、合宿中の博士にお会いし、スパーアドバイザーの就任を打診しました。博士が培われた知識や経験、人脈を生かして、当地をさらに充実したエリアとするためです。

返事は「OK」。就任は来年度からを予定していますが、世界的に著名な博士から指導・助言をいただけることにさらなる期待が高まります。私も一層施設のPRと充実を努めてまいりますので、引き続きご理解をお願いします。

ケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」はインターネットでもご覧いただけます。市ホームページ「行政情報」の動画コーナー [高山市公式YouTubeチャンネル](#)

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

9月15日(火)

午後1時30分～4時15分

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

市長室直通FAXもご利用ください

FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

編集・発行/高山市企画管理部企画課

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL/0577-32-3333(代)

FAX/0577-32-7000(市長室直通)

FAX/0577-35-3174(企画課直通)

HP/http://www.city.takayama.lg.jp/

E-mail/kouhou@city.takayama.lg.jp

防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます

携帯用HP/http://mobile.city.takayama.lg.jp/